

石灰沈着性腱板炎に対する H2 ブロッカーの使用

H20. 2. 22 金町店

先日、整形外科を受診された患者さんにガスター錠 10mg が処方された。石灰を溶かす目的であると同ったため、石灰沈着性腱板炎に対するファモチジンの使用について調べた。

処方：A 整形外科 (71 歳 女性)

ガスター錠 10mg 2T
朝・夕食後 14 日分

老化現象による左肩の Ca 沈着・石灰化との診断を受ける。
以降、当薬局における投薬がない為、効果・副作用等については確認できていない。

アステラス製薬としては、本来は適応外になる為、石灰沈着の目的での使用は薦められないという返答でしたが、いくつかの文献・症例報告を提供して頂けましたので報告します。

石灰沈着性腱板炎とは...

肩関節や股関節の腱板にカルシウム塩が沈着し、急性あるいは慢性の炎症（疼痛）を生じる関節周囲炎である。

40～50 歳代の女性に多く発症する。

治療としては、急性期では石灰沈着物質の剥離、吸引、局所麻酔薬やステロイド薬の注入、NSAID の投与、慢性期では石灰沈着物質の外科的摘出などが行われる。

石灰沈着性腱板炎の発症メカニズム

現在のところ明らかにはされていないが、組織の酸素分圧低下により腱の線維軟骨への変性が起こりその周囲が石灰化するのではないかと考えられている。

H2 ブロッカーが石灰沈着性腱板炎に使用されるようになった経緯

シメチジン（タガメット）の投与により原発性副甲状腺機能亢進症での副甲状腺ホルモン（PTH）やカルシウムが正常化したとの報告が最初。

その後、透析患者の異所性石灰沈着症での有効性が示されたのに続き、透析患者以外での石灰沈着症でも有効であると報告される。

H2 ブロッカーが石灰沈着に及ぼす作用機序としては以下の2つが考えられている。

- ① 副甲状腺細胞に存在する H2 受容体に作用し、PTH の分泌抑制を介して カルシウム代謝に影響して作用する。
- ② 骨格筋の中に分布している血管に存在する H2 受容体に直接作用する。

現在のところ作用機序は解明されていないが、上記の通り H2 受容体への作用が石灰沈着縮小の主要因であるならば、ファモチジン（ガスター）はシメチジンに比べて H2 受容体選択性が強いことからより効果的なのではないかと考えられている。

参考文献

- 1) 石灰沈着性腱板円に対する H2 受容体拮抗薬 ファモチジン併用による早期改善効果の検討. Prog. Med. 24:2013~2017, 2004
- 2) H2 ブロッカー・ファモチジンが著効した肩石灰沈着性腱板炎の2例.